

この度、4月1日付けで京都市動物園長に就任いたしました。京都市動物園は明治36年に我が国2番目の動物園として開園し、本年110年を迎えました。歴史があり、市民の皆様にあいされ、多くの来園者の方々に支えられている動物園の園長という責任の重さに身の引き締まる思いです。

本園では、平成21年11月に策定した、共汗でつくる新「京都市動物園構想」に基づき整備を進めており、本年4月には「アフリカの草原」「ひかり・みず・みどりの熱帯動物館」がオープンしました。また、7月には利便性向上に向け東エントランスが完成いたします。開園しながらの整備ではありますので、皆様には御不便をおかけしているところではありますが、工程の半ばを過ぎ28年春の完成に向け着実に進めておりますので、御期待いただければと思います。

また本年度からは、「飼育課」を「種の保存展示課」に改名し、新たに「生き物・学び・研究センター」を立ち上げました。これは、現代型動物園に課せられた役割を果たすべく、「種の保存」や「環境教育」の実践に向け、組織的にも強化を図っているところです。

様々な取組を行っていくなか、市民の皆様にとって安全で安心な、感動と安らぎを得られる場であり続けたいと思っております。そして何より、近くで動物たちの大きさやにおいを実感し、命が感じられる動物園、「近くて楽しい動物園」作りを目指してまいります。今後ともなお一層の御愛顧・御支援を賜りますよう、お願いいたします。

## 就任の御挨拶

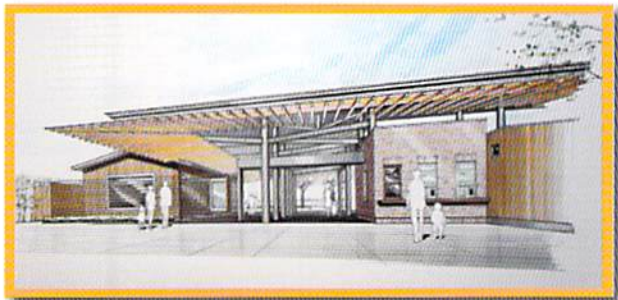


京都市動物園長  
秋久 成人

地下鉄蹴上駅より徒歩5分です！

## 東エントランス

7月6日(土)  
正午オープン!!



『白川通りから見た東エントランス』

- \* 地下鉄蹴上駅より徒歩5分と近くて便利に！
- \* 「イーストギャラリー」では、ツシマヤマネコや法勝寺に関する常設展や写真展、絵画展などの企画展示を行います。
- \* 絶滅危惧種であるツシマヤマネコの繁殖に取組む動物舎もできます。(非公開)

ショップではオリジナル商品を販売し、琵琶湖疎水を眺めながらお茶をお楽しみいただけるカフェもオープンします。



『園内側から見た東エントランス』

# 赤ちゃんチンパンジー 『ニイニ』誕生!!



## これまでの経緯

京都市動物園では、2009年3月からチンパンジーの飼育再開以来、繁殖に向けて取り組んできました。当初はオスのタカシ(25歳)と今回お母さんになったコイコ(36歳)との繁殖を目指していましたが、タカシは全くコイコに関心を示さず、交尾が見られませんでした。そこで新たに、今回お父さんとなったジェームス(20歳)を京都大学野生動物研究センター熊本サンクチュアリから借り受けました。(2010年11月来園)

通常野生のチンパンジーのオスは、生まれた群れで生涯過ごします。熊本生まれのジェームスは、生まれて初めて一人熊本を離れ京都にやってきました。そのため京都の新しい環境に慣れるまで少し時間がかかりましたが、環境に慣れてくると、コイコの発情時には交尾が見られるようになりました。



『ジェームスとコイコの交尾』

2011年12月にコイコの生理が遅れていたため、ヒト用の妊娠検査薬を用いて判定を行ったところ陽性でした。しかしその後、生理出血があり流産と判断しました。

その後もコイコの発情のたびに交尾が観察され、2012年5月に再び生理が遅れたため妊娠判定を行い、陽性の判定が出ましたが、5月末に胎盤が排出され、2度目の流産を経験しました。



『妊娠検査薬で陽性反応』



『大きなお腹が目立ってきたコイコ』

6月中旬から末にかけて交尾がみられ、その後コイコに生理が来なかったため、検査を行ったところ陽性でした。何とか今度こそはという我々飼育スタッフの願いが届いたのが、コイコはつわりで食欲が落ちることもありましたが、順調に妊娠を維持しました。

チンパンジーの妊娠期間は約235日なので、出産予定日は2013年2月19日前後と予想し、出産に向けて我々も協議や準備を行いました。



## ついに誕生！



『2013年2月13日撮影』



寒い時期の出産なので、予定日の2週間前からワラをたくさん敷き詰めた室内で終日スズミと過ごさせて様子を見ました。スズミと一緒にしたのは、出産経験のないスズミに間近で出産を見せて学ばせるためです。

そして2013年2月12日の未明、無事に男の子を出産しました。前日の夜8時頃までは出産に備えて待機していたのですが、生まれる様子がなかったため、帰宅していました。翌朝、赤ちゃんをコイコが抱いているのを発見し大変驚きました。夜間の様子を録画していたビデオを見ると、夜中の1時30分から2時の間に出産したようでした。

予定より1週間ほど早く産まれたため赤ちゃんはやや小さかったのですが、コイコはこれまでに3回の出産育児を経験しているベテランお母さんなので、今回もしっかりと赤ちゃんを抱いていました。赤ちゃんもコイコのお乳を一所懸命探して飲んでいるようでした。



赤ちゃんは日増しにしっかりしてきて、生後約1週間でお父さんのジェームスやタカシとも一緒に生活するようになりました。気候も暖かくなったので、3月8日からはグラウンドにも出られるようになりました。

『グラウンドにも慣れた様子』

4月になると少しずつ筋力もついてきて、つかまり立ちができるようになり、お母さんの体からほんの少し離れるようになりました。生まれた頃よりかわいらしさも増してきたように思います。

さらに5月に入ると、色々なものを噛みたがるようになり、口の中をしてみると下の顎に小さな前歯が生え始めていました。

これからも元気にすくすくと成長し、群れの中でチンパンジーとしての社会のルールを学び、将来は立派なお父さんになってくれることを心から願っています。

(種の保存展示課 松永雅之)



『5月18日撮影』

『何してるの？と覗きこむ  
コイコ親子。  
ニイニに歯が生えた！』

『そっと赤ちゃんを見守る  
ジェームスお父さん』

# タンザニアの野生動物を訪ねて Part 6

乾季(雨が減多に降らない乾いた時期)のタンザニアに実際に行ってみたら...inセレンゲティ

昼間のサバンナ。気温は36℃、湿度は34%。カラッカラに乾いた空気に刺すような日差し。カバは川に、他の動物は木陰でじっとして暑さを凌ぎます。



夕暮れになると気温は28℃まで下がり、湿度は50%に。過ごしやすい時間になると、カバはエサを求めて川から陸に上がり歩きだします。



早朝ロツジの周辺を散策。気温は13℃にまで下がり、湿度はなんと89%!!ガイドさんもジャケットを着るくらいひんやり。シマウマやヌーは活発に、草を食べ歩いています。



(種の保存展示課 河村あゆみ) 研修期間 2012年8月17~26日



時間帯と温度・湿度の関係、動物の行動の違いを実際に観察でき、とても興味深い貴重な体験をすることができました。これらを今後の飼育展示に活かせるよう頑張ります!! \*この研修は、京都大学野生動物研究センターと連携して行っています。

## できごと

### 誕生!

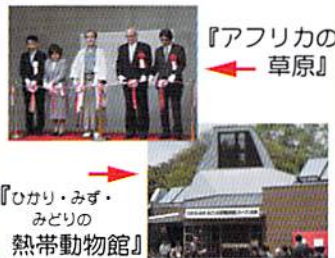
☆5月15日元気なオスの赤ちゃんが誕生しました! 愛らしい姿を見に来てくださいね♪

『5月24日撮影 母親のミライと赤ちゃん』



### オープン式典

☆二つの施設が4月にオープンしました!!新しい仲間も増えました。見に来てください。



### 命名式



☆チンパンジーの赤ちゃんの名前が、みなさんからの投票の結果「ニイニ」に決まりました!

### 新しい仲間

皆さんの投票で名前が決まりました! オスが「ウーロン」、メスが「ジャスミン」です! よろしくね~

☆中国からシセンレッサーパンダが2頭やって来ました。オスとメスです。日本の環境に早く慣れてくれることを願っています。

『ウーロン』



『ジャスミン』

## 寄付のお知らせ

ありがとうございました

国際ソロプチミスト京都様から、東エントランス 総合案内板を寄贈していただきました。

定期購読を希望される方は、80円切手4枚(1年分)を同封して京都市動物園までお申し込みください。

氏名又は名称:京都市長 門川 大作  
事業所の名称:京都市動物園  
事業所の所在地:京都市左京区岡崎法勝寺町126  
動物取扱業の種類:展示

登録番号:070051  
登録年月日:平成19年5月22日  
有効期間の末日:平成29年5月21日  
動物取扱責任者氏名:和田 晴太郎

